

Powered by **HANKOOK**
driving emotion

Super Taikyu
Japanese Endurance Race

ENEOS

スーパー耐久 開幕戦 2022年3月19-20日 鈴鹿サーキット



予選 3rd / 決勝 1st

今シーズンの初戦は、スーパー耐久の開幕戦。鈴鹿サーキットでの5時間耐久レース。投入から3年目となるクラウンRSで挑みます。

4ドアセダンでホイールベースが長く、コーナーが続く鈴鹿は相性が良いとはいえない中、予選3位。決勝はチーム一丸となって戦い優勝。幸先の良いスタートを切ることができました。たくさんの応援、ありがとうございました。

ターボ車のクラウンRSは燃費も良いとは言えずレースウィークでは苦戦しながら調整をしていきました。



<予選>

Aドライバーの服部選手が3位、Bドライバーの吉田選手も3位。決勝は3番手でのスタートです。Cドライバーである自分の時間は決勝へ向けて確認しながら走行、クラストップを記録しました。

<決勝>

天候はドライ。気温は低く、風も強いコンディションになりました。5時間の耐久レースでスタートドライバーを任されることになり11:45にレーススタート。最初の1:30のステントでは、とにかく前の車から離れずに、しっかりついていくことが大事。想像していたほど前車と離れることがなく、次の吉田選手につなぎます。

メカニックの迅速なタイヤ交換で、ピットストップで優位に立ちセカンドステントの周回を重ね、服部選手に交代。ここでクラストップにたち、最後のステントへ。最終の走行を任されました。タイヤマネジメントをしながらポジション維持。2番手を走るのは昨年のチャンピオンチーム。周回ごとに差が縮まる中、FCY。最後は後続と4秒差でトップチェッカーを受けました。

クラウンは車が重いためタイヤへのダメージが大きくなるのでペースを上げられない中、メカニックの迅速な作業で首位に立つことができました。大事な開幕戦で、スタートと最終ドライバーを任せてもらったことは、大きな自信になりました。開幕戦から優勝でき、幸先良いスタートを切りました。次戦は4/9-10、スーパーフォーミュラライツ開幕戦、富士スピードウェイです。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

